資源を節約する工事

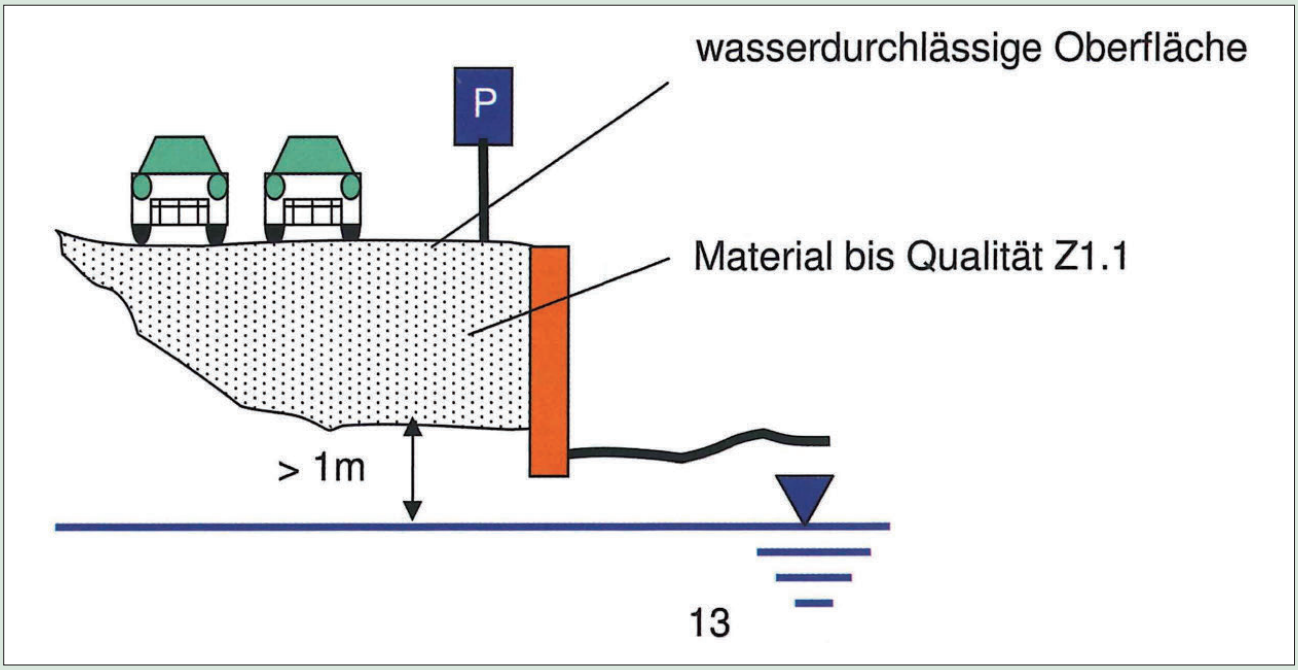
原題：*Ressourcenschonendes Bauen*

●著者・所属：Erik Schuhmacher；土木工学および廃棄のリーダー、Leonhard Weiss GmbH & Co.KG、ドイツ
●誌名：Der Eisenbahningenieur　Vol.72　No.5（2021-5）　pp.6-9
●言語：独語

余裕がなくなりつつある自然資源や廃棄場の容量を考慮すると、持続可能な工事は経済的だけでなく社会的な要請にもなっている。土木工事では大量の掘削土が発生する。循環経済法（KrWG）によれば廃棄物の最小化の課題が重要である。そこで目標は高い再利用率となる。土木工事では土の再利用をできるだけ高めるような掘削計画が作成される。法的に正しい再利用を可能にするため土質力学的適性に加えて環境技術的適性が考慮される。取り除かれた土を最小化する本質的な関心事は接着剤を使った土壌処理を行うことである。この方式では適していない土は土構造に再利用できる様に処理された。

掘削土の再利用と接着剤による土壌処理

出典　Der Eisenbahningenieur



決まった技術的安全方策が無い構造物への再利用―設置構成　Z1.1

出典　Der Eisenbahningenieur